

教育融合推進 センター(仮称) =樽商大

文理融合科目

帯畜大、樽商大、北見工大の教育・研究の主な連携

多様な教育プログ ラムや遠隔授業の 開発・運用を担う

「農業とテクノロ ジー」など分野を 超えた科目を3大 学が相互提供する

科目選択や履修期 間を自由に選べ、 複数の学位取得を 可能とする

オープンイノベーション・センター=北見工大

地域や産業界の要請に 応じた研究を推進する

農·商·工連携 プロジェクト

ーなどを使った最高 業や地域防災力の ・空港を活用した観 ・食品関連の事業創設 向けた研究を推進す

### e ...

電子版の教育コーナー 🔾 道新先生

ら)借りて畑を作り、ハッ「旧競馬場を(北見市か

ロナ禍で需要が増すマスク 究を紹介した。 ハッカはコ

力などを植えています」。

地元特産のハッカ栽培の研 授が樽商大で教壇に立ち、 北見工大の有田敏彦特任教

> 結びつきを強めている。 の消臭剤などとして使われ

ており、北見工大と地域は

道内経済への貢献を目指し、各大学の特色である農・商・工を組み合わせた文理融合科目を開発中。オ ンラインによる遠隔授業が先行実施され、学生たちが大学の垣根を越え、互いのキャンパスを行き来す

(谷本雄也、

小坂真希)

帯広畜産大、小樽商科大、北見工業大の国立3大学が、来年4月の経営統合を前に連携を深めている。

# 越

来春統合の帯畜大・樽商大・北見工大

生に同時配信された―4月30 の有田特任教授。3大学の学 樽商大の教壇に立つ北見工大

工大にもオンライン会議シ

相互に配信し、21年度は対 共通化。収録映像を含めて 2年生の教養科目の一部を ち、2020年度から1、

連携のうち、

国内では前例

3大学統合に伴う学びの

ノログラム」だ。

国内初

単

位

累積型プ

一地域学」。帯畜大と北見 授業は4月に行われた 部科目共通化



話を聞いた渡辺恵輔さん

(MBA) を取得できる

ス」を開設。北大在学中から と連携し、「MBA特別 BAダブルディグリー制度」 学び、北大で学位を取得後、 科目等履修生として樽商大で の導入を検討している。 得商大に1年間在籍すること 一MBA特別コー 北大

# として、帯畜大と北見工大の理融合を目指す。目玉の一つ 学生が樽商大で経営学修士 Й 樽商大コース活用

新制度の導入検討

るという。 極める。 育方法や導入時期を慎重に見 授業のみで教育効果を出すの 樽商大は「オンラインの遠隔 対面での討論が重視される。 少人数のゼミ形式で行われ、 大学の制度もこれを参考にす 3月までに21人が修了し、 学生からは期待の声が上が MBA特別コースの授業は 具体的な教

でMBAを取得できる。21年 3 る。社会で生かせるのでは」 ス=は「MBA取得は魅力的」 る。 分野と結び付く学問なので、 と導入されれば取得したい考 ん(22)=地域未来デザイン下 業を例に「工学はさまざまな えだ。医療工学やスマート農 学科機械知能・生体工学コー と話している。 北見工大3年の平林朋晋さ

(宮本夕梨華、

古市優伍)

帯 畜 大 北 見 工大生 も M B Ā 取 得

可

能

(幸坂浩)

3大学は大学院教育でも文

完全単位累積型学位取得プログラムの一例 1年目 北見工大で3大学共通の基礎科目を学ぶ 帯畜大で3大学共通の基礎科目を学ぶ 3年目 短期留学や就労なと 4年目 3大学のいずれかで専門科目を学 5年目 同

在籍期間自

碧雲蔵は日本酒醸造で地

### 多様な学生に対応 24年度導入目指す

北見工大の鈴木聡一郎学長る。プログラムを発案したる。プログラムを発案したる。 学法人支援課)とし、 だ。文部科学省は「社会で制度設計や課題を検証中 は 検討してほしい」 その意義や需要も踏まえて 何が求められているのか、 正が必要となり、3大学は の学位を取得するには法改 位を受けられない。他大学 できる」と狙いを語る。 習プランを提供することが 学位を得られる仕組みだ。 必要な単位を取れば複数の 学費は1単位ごとに払い 究を行う一ことが可能だ。 ただ、現行の学校教育法 入学した大学でしか学 「多様な学生に多様な学 度は就労して大学に戻 (国立大

## 隔授業 大学間の B 距離 相 互訪 克服 課題 問

るのか」などの質問が出た。 一次(要望)をどのように募 学機構」(帯広)を運営法 人として統合するのに先立 3大学は「北海道国立大 産学、 産業」では、帯畜大が農畜 樽商大が流通システ

型プログラム」を本格的に 導入する。「スマート農畜 か。3大学は文系、理系の済の疲弊をどう食い止める 枠を超えた教育研究を充実 人材の育成を目指す。 させ、専門分野以外に経営 会計面などにも精通した 来春からは専門外の科目 の頻繁な往来は難しい。こ

とめを発表した7月の記者

広大

整備する。 の学生が同じ机を囲む感覚 T)を駆使して少人数の遠のため情報通信技術(IC で学べる仮想空間の環境も 隔授業などに対応。各大学 グループワークは対面で な北海道が持つ潜在能力を 距離の問題を克服し、 会見で「一CTを活用して

は300\*以上離れ、 のが距離だ。小樽―北見間 仮想空間整備 3大学連携で課題となる など先端技術を用いた 学生 3大学の経営方針の最終ま 樽商大の穴沢真学長は、

原凪人さんは「夏休みなど」 語名な識論を交わす必要が るといい」と要望する。 まとまった日数で設定し、 (移動や宿泊の)補助があ

源を活性化し、人口減や経 専門外も学べる (3年) は「川端さんの熱 道内の基幹産業や観光資 と振り返る。 学を担当することで文理の あった、北見エナナWest 一)など先端技術を用 農場を巡る実習も設ける。

量を感じた」

### 2大学でも学位を取得でき ずれかに所属しつつ、残る枠を設け、学生は3大学い 法改正が必要とされ、導入 年間でも在籍でき、 は早くても2024年度に 複数の学位を取得したりす ん働いて学費をためたり、 のない取り組みとなるのが 一完全単位累積型学位取得 プログラムは特別な入学 大学に何 いった 6年目 樽商大で卒業研究、学位を取得

学びの場はオンラインに

お客さんの生の反応か 「ネットで集めた情報よ

学を経て、樽商大で卒業研 礎科目を学んだ後、海外留 や帯畜大で3大学共通の基

他大

複数の学位取得

なる見通しだ。

学の取り組みを注視してい ログラム したい」と強調した。 携による新しい教育・ 顕在化させたい。 3大学連 一例として、北見工大 成果を地域に還元

教育や学びなどについての情報をお寄せください。〒060・8711(住所不要)北海道新聞報道センター教育担当へ。電子メール(kyoiku@hokkaido-np.co.jp)、ファクス011・210・5592でも受け付けます。